

9. 指導のサポート

子どもたちの主体的な学びを実現するためには、1年間を見通した指導を意識することや毎時間の指導のポイントをしっかりとおさえることなどがが必要です。そのような指導の手助けとなる教材を用意しています。

充実した授業づくりに向けて

巻頭の「算数のとびら」が、子どもたちとともに先生方が授業をつくり上げていく時の手助けとなります。また、学級の実態に応じた指導をサポートするために、切り取り教具を充実させたり、十分な予備時数を確保したりしています。

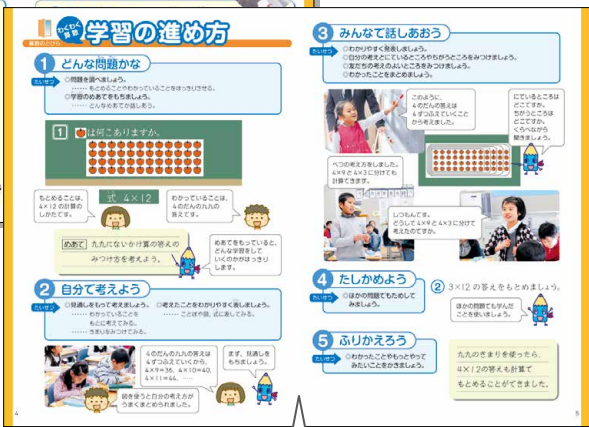


算数のとびら

これから1年間の学習の見通しや取り組み方を子どもたちと確認するコーナーです。新任者の先生にとっては指導のガイドにもなります。

目次で、既習事項との
繋がりを示しました。

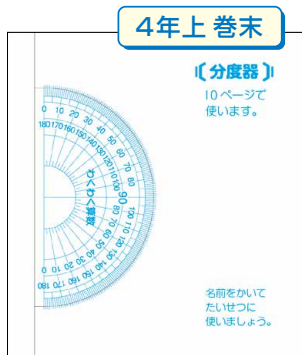
問題の構成など、
教科書の使い方を
掲載しました。



1時間の授業の展開事例を掲載しました。

切り取り教具の充実

切り取り教具を充実させることで、体験的な学習が指導しやすくなりました。4年上巻末の分度器は、個体差に伴う目盛りの数字の並び位置などの違いによる指導の難しさを解消します。



■ 年間指導時数への配慮

各学校の実態や学習の進度などを考慮し，年間の配當時数については，標準時数よりも10～20時間程度縮減し，ゆとりを持たせています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
標準指導時数	136	175	175	175	175	175
年間配當時数	126	160	160	160	158	153
予備時数	10	15	15	15	17	22

* 年間配當時数には，本編の「復習・準備」（算数アスレチック）の時間も含んでいます。
「復習・準備」を柔軟に扱うことで，予備時数はさらに増えます。

ICTの利活用に向けて

インターネットを活用した場面を取り入れるなどしてコンピュータの利活用を推進しています。近年，ICTを活用した指導においてデジタル教科書が大きな役割を果たしつつあります。高い学習効果が得られるようにデジタル教科書を開発しています。

6年 p.114

学びをいかそう

算数実験室

木の高さをはかろう

だいちはさんは，インターネットを使って，木の高さや直径のはかり方を調べました。

木の高さは地面が平らであれば，木のとっぺんが 45° の角度で見えるところまで下がり，木までのきよりとはかった高さをたせば簡単に求められます。

また，木の直径は自分の胸の高さぐらいのところの周囲をはかり，円周率でわって求めます。

木の高さは $a+b$

木の直径は a

（奈良県ホームページ）

■ 子どものICT活用力の育成

インターネットを活用して調べる学習活動を取り上げたり，表計算ソフトを使って作成したデータを紹介したりすることで，子どもたちのICT活用力を育みます。

4年下 p.63

学びをいかそう さがしてみよう

④ 身のまわりから，2つのことがらを調べる表がどんなところで使われているか，みつけましょう。

	好き	嫌い	合計
ネコ	19	4	23
イヌ	3	2	5
合計	22	6	28

感想

2つのことがらを調べる表のかき方がわかりました。

■ デジタル教科書の活用

教科書紙面の拡大表示だけではなく，授業の展開に合わせて順を追って文章などを表示したり，動画で理解を深めたりすることができるデジタル教科書を用意しています。（別売，詳しくは80ページ参照）